特別調査　　中小企業における生成AIの利活用について

問１．貴社では、業務上で生成ＡＩ(ChatGPT、Gemini、Claude、DeepSeek 等)を利活用していますか。利活用している場合は主にどのような方が使っていますか。１～５の中から１つ選んでお答えください。

【利活用している】

1. 全社的に利活用
2. 主に経営者（個人事業主を含む）
3. 主に従業員
4. 利活用していない
5. わからない

（単位：件・%）

	1	2	3	4	5
合計(構成比)	**4.5**	**9.0**	**2.6**	**76.9**	**7.0**
合計件数	**7**	**14**	**4**	**120**	**11**
製　　造	1	5	1	23	2
卸　　売	0	1	0	7	1
小　　売	3	3	2	37	3
サービス	0	0	1	26	2
建　　設	3	5	0	27	3

＊業務上での生成ＡＩの利活用については、「利活用している」との回答が 16.1%となり、156 社中 25 社が生成ＡＩを利活用している結果となった。その内訳は、「主に経営者(個人事業主含む)」が 9.0%(14 社)、「全社的に利活用」が 4.5%(7 社)、「主に従業員」が 2.6%(4 社)の順になっている。一方で、「利活用していない」は 76.9%(120 社)、「わからない」は 7.0%(11 社)となった。

問２　貴社では、業務上で生成ＡＩをどのような用途で利活用していますか。また、現時点で利活用していない場合は、どのような用途での利活用に関心がありますか。下記の１～０の中から当てはまるものについて３つ以内で選んでお答えください。

1. 文章作成（メール・案内文・議事録）　2. 問合せ対応の効率化（チャット対応、FAQ 等）　3. 販促文章の作成（SNS 投稿、チラシ文面等）　4. 経理事務作業の効率化（請求書の整理等）　5. 社内情報検索・マニュアル化
6. 採用業務の効率化（求人票作成等）　7. データ分析（売上・顧客動向等）　8. アイデア出し・経営戦略策定
9. その他　0. 利活用しておらず関心がない

（単位：件・%）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
合計(構成比)	**18.6**	**1.9**	**9.0**	**8.3**	**3.2**	**1.3**	**16.0**	**12.2**	**2.6**	**67.9**
合計件数	**29**	**3**	**14**	**13**	**5**	**2**	**25**	**19**	**4**	**106**
製　　造	9	0	6	2	1	0	7	5	0	19
卸　　売	2	0	2	0	1	1	2	3	0	5
小　　売	7	1	3	2	1	0	8	5	2	34
サービス	3	0	2	2	1	0	3	1	0	24
建　　設	8	2	1	7	1	1	5	5	2	24

＊生成ＡＩ等の利活用の用途については、「文章作成(メール･案内文･議事録)」が 18.6%で最も高くなった。以下、「データ分析(売上･顧客動向等)」16.0%、「アイデア出し･経営戦略策定」12.2%、「販促文章の作成(ＳＮＳ投稿･チラシ文面等)」9.0%、「経理事務作業の効率化(請求書の整理等)」8.3%と続いた。一方、「利活用しておらず関心がない」は 67.9%となった。

問３．貴社が生成ＡＩを業務で利活用する上で、課題となる点は何ですか。もし現時点で利活用していない場合は、その理由は何ですか。以下の１～０の中から当てはまるものについて３つ以内で選んでお答えください。

1. 情報漏えい・セキュリティ面の不安　2. 利用に際する社内ルールの未整備　3. 出力内容の正確性への不安　4. 業務上での活用方法が分からない　5.操作方法・使い方への不安　6. 効果検証・運用の時間が確保できない　7. 費用対効果が不明　8. 推進できる人材がいない　9. その他　0. 特にない

（単位：件・%）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
合計(構成比)	**17.3**	**5.8**	**12.8**	**12.2**	**22.4**	**13.5**	**9.6**	**12.2**	**0.0**	**44.9**
合計件数	**27**	**9**	**20**	**19**	**35**	**21**	**15**	**19**	**0**	**70**
製造	6	1	7	4	5	3	6	5	0	15
卸売	3	1	2	2	2	1	0	2	0	3
小売	6	0	6	6	14	7	4	4	0	21
サービス	2	1	1	3	5	3	3	2	0	16
建設	10	6	4	4	9	7	2	6	0	15

＊生成ＡＩを業務で利活用する上での課題、また､利活用していない理由については､「操作方法･使い方への不安」22.4%が最も高くなった。以下「情報漏えい･セキュリティ面の不安」17.3%､「効果検証･運用の時間が確保できない」13.5%､「出力内容の正確性への不安」12.8%と続き､「特にない」は 44.9%となった。

特別設問　中東情勢による影響

問４．2026 年春以降の中東情勢の混迷等により、貴社では原材料や商品等の調達（仕入れ）に際して、欠品や納期遅れ等、価格面以外での支障が生じていますか。直近（６か月程度）の状況について１～５の中から、今後（６か月程度）の見通しについて６～０の中から最も当てはまるものをそれぞれ１つずつ選んでお答えください。

【直近】
1. かなり支障が生じている
2. 一部支障が生じている
3. あまり支障は生じていない
4. 特に問題なく通常どおり
5. 該当なし・分からない

【今後】
6. かなり支障が生じる見込み
7. 一部支障が生じる見込み
8. あまり支障は生じない見込み
9. 特に問題なく通常どおりの見込み
0. 該当なし・分からない

（単位：件・%）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
合計(構成比)	**10.9**	**55.2**	**17.3**	**8.3**	**8.3**	**9.0**	**51.8**	**21.2**	**9.0**	**9.0**
合計件数	**17**	**86**	**27**	**13**	**13**	**14**	**81**	**33**	**14**	**14**
製造	2	20	7	1	2	3	20	5	2	2
卸売	2	5	1	0	1	0	4	4	0	1
小売	6	22	8	6	6	6	21	8	6	7
サービス	5	14	4	3	3	3	13	7	3	3
建設	2	25	7	3	1	2	23	9	3	1

＊中東情勢の混迷等による原材料や商品の調達における支障について、直近(6 か月程度)では「一部支障が生じている」が 55.2%と最も多く、「かなり支障が生じている」10.9%と合わせた「支障が生じている」との回答割合は 66.1%となっている。また、今後についても「一部支障が生じる見込み」が 51.8%と最も多く、「かなり支障が生じる見込み」9.0%と合わせた「支障が生じる見込み」との回答割合は 60.8%となった。

問５．中東情勢の混迷等により、原油価格等の高騰や、原材料・商品等の調達が困難な状況が生じています。これを受けて、今後、行政に求める支援策は何ですか。以下の１～０の中から当てはまるものについて３つ以内で選んでお答えください。

1. 一時支援金などの給付金　2. 資金繰り支援の拡充　3. 価格転嫁の円滑化支援　4. 原材料・部材の調達支援　5. エネルギーの安定供給・料金対策　6. 省エネ・効率化の支援　7. 情報提供・相談窓口の強化　8. 買占めや不当な値上げへの監視強化　9. その他　0. 特になし

（単位：件・%）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
合計(構成比)	**20.5**	**17.3**	**23.1**	**30.1**	**29.5**	**9.0**	**8.3**	**28.8**	**0.6**	**26.9**
合計件数	**32**	**27**	**36**	**47**	**46**	**14**	**13**	**45**	**1**	**42**
製造	8	5	6	13	13	2	3	15	0	5
卸売	1	0	1	3	1	3	1	5	0	3
小売	10	6	12	12	15	5	2	14	0	14
サービス	4	3	7	7	7	2	1	4	0	11
建設	9	13	10	12	10	2	6	7	1	9

＊中東情勢の混迷を受け、今後、行政に求める支援策については、「原材料･部材の調達支援」が 30.1%と最も高くなった。以下、「エネルギーの安定供給･料金対策」29.5%、「買占めや不当な値上げへの監視強化」28.8%、「価格転嫁の円滑化支援」23.1%、「一時支援金などの給付金」20.5%、「資金繰り支援の拡充」17.3%と続いた。

～調査員のコメントから～

○　秋鮭の不漁予測が出ているが､主力魚種であり漁獲に期待している。（製造業）

○　主力商品は秋鮭「銀聖」。水揚げ少なく､タコなど他魚種でギフト商品開発を計画。（製造業）

○　大型スーパー等販路確立しているが､価格交渉に時間を要している。（卸売業）

○　木材の仕入れ価格高騰。取引先への値上げ行っているが､業況は厳しい。（卸売業）

○　材料価格が高騰し､価格を見て工事を見送る客も出ている。（建設業）

○　資材の納入が遅れるものもあり､工期のズレや着工遅れが出ている。（建設業）

○　昆布漁をはじめ前浜の漁業が不振で､出漁日数が減り燃料の給油が減少し売上減少。（小売業）

○　資材納入の遅れがあったが､徐々に回復し影響は少なくなっている。（小売業）

○　個人消費の低迷や中古車価格の上昇で､売上は減少している。（サービス業）

○　車用オイルや車輌部品の価格上昇。商品欠品等で支障が出ている。（サービス業）